

(A) 松平強助 軍會ノ辭ヲ蒙テ「團結ノ必要」ヲ説キ坎
際ヲ以テ誘惑的言辭ニ迷ハサルコト勿レ、勇働者中坎邊
部ニ不賛事ヲ唱フルモノハ協調會ノ講習所出テ者ノ不ニシテ
ル輩ノミ

(B) 滝田 考壽 「從來ノ資本制を打破スベシ」と云レノ(五八)
階級ノ存在ハ本際絶対ニ認メズ者ハ言ハレ「横ヲ向クコト
ナリ」一生懸命ニ働ケド然ラバ「救ヒラレント」然レ共現代
ノ資本制初級ノ下ニアリテハ、勇働者ハ働ケバ働ケド賃銀
ハ益シ下ケラレルモノハ「横」ヲ取ラレ「横」ヲ取ラレル(中)
(新島 横暴ヲ叫ブ)

(C) 横田 昂一 我等ハ最早ヤ一勇働者ニ非ズ大切ノ吉田
松陰、徳富宗五郎、大塚平八良也 我等ノ皆ハ此ノ非前

ノ同胞アリ我等ハ我等ノ爲メキコトヲ爲シタリコレヨリ
此處部ハ實ニ委多ク年ニ渡サン人々ハ兵ノ運動期ニ入ル
モノハ團結ノ力ニ依テ根強ク奮闘セシ

(C) 足立 和 個々ニ弱キ我ハタゞ「團結」ノ力ニ依テ根強
ク得テニ対抗セヨ去ル五日陸軍攻撃ニ而奮シ「出向百歩ノ兵
士ハ内地ニ於テテ是レ」我ガ精神ハ「働カスレテ」此ノ事ハ
態ニ「ん」事ヲ以テカバ如何ニ「流」腫スルナラシ 傍ウツキ然也
我ガ敗ケンノミト連バ「ん」復モ之ニ對シ「賛」意ヲ表
シ個人的ニ要求ヲ忘ルニク努力スベシト然ハ「ん」然レ共
陸軍ニ向テ是レモ「考」謀式ニテ我ガ「團結」力ヲ弱クナリ
ト知レバ何時「裏」心セトモ測リ難キ 團結力ヲ強固ニシ
テ久ク「回」答ヲ待ツワキ時期トナレリ